

SCSK

証券コード：9719



2022年3月期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

社会が必要とする新たな価値創出に挑戦し、
成長戦略としてのサステナビリティ経営を
推進します



代表取締役
執行役員 社長
最高執行責任者

谷原 徹

株主の皆様へ

SCSK株式会社は、2021年10月1日をもちまして10周年を迎えました。旧住商情報システム株式会社と旧株式会社CSKの合併により誕生したSCSK株式会社が、順調に事業成長を成し遂げ、安定した経営基盤を築いたうえで、10周年を迎えることができたのも、株主の皆様をはじめとする多くのステークホルダーの方々のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

本冊子では2022年3月期上半期の連結業績の概要と共に、2020年4月からスタートした3か年の中期経営計画の進捗状況などにつきましてご報告いたします。

2022年3月期 上半期連結業績

■ 要約連結損益計算書

	2022年3月期 上半期	増減額 (前年同期比)	増減率 (前年同期比)
売上高	2,000億円	102億円	5.4%
売上総利益	519億円	30億円	6.3%
営業利益	225億円	13億円	6.5%
営業利益率	11.3%	0.1%	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	157億円	9億円	6.2%

当上半期（2021年4月1日～9月30日）の売上高は、製造業向けのシステム開発需要や銀行業・証券業を中心とした金融業のIT投資需要、また通信業向け開発需要及びネットワーク機器販売の増加を背景に、システム開発、保守運用・サービス、システム販売のいずれの売上区分においても増加し、前年同期比5.4%増の200,025百万円となりました。また新人事制度の導入に伴う人件費の増加や中期経営計画における基本戦略に沿った各種事業投資等により販管費が増加しましたが、増収並びに生産性の向上を伴って、営業利益は前年同期比6.5%増の22,590百万円となりました。

■ 区分別売上高・受注高・受注残高 (単位：百万円)

		2021年3月期 上半期	2022年3月期 上半期	増減額	増減率
システム 開発	売上高	78,474	82,022	3,547	4.5%
	受注高	80,298	83,404	3,105	3.9%
	受注残高	38,190	38,563	373	1.0%
保守運用・ サービス	売上高	74,524	79,935	5,411	7.3%
	受注高	64,964	69,531	4,566	7.0%
	受注残高	83,563	90,136	6,573	7.9%
システム 販売	売上高	36,756	38,067	1,310	3.6%
	受注高	34,652	41,982	7,330	21.2%
	受注残高	15,547	29,465	13,917	89.5%

2022年3月期 通期連結業績予想について

当上半期の業績は概ね当社期初予想の範囲内であることから、2021年4月28日に公表しました通期連結業績予想を変更せず、売上高4,200億円、営業利益480億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は340億円と据え置くことといたしました。

	2021年3月期	2022年3月期(予想)	増減額	増減率
売上高	3,968億円	4,200億円	231億円	5.8%
営業利益	458億円	480億円	21億円	4.6%
営業利益率	11.6%	11.4%	△0.1%	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	334億円	340億円	5億円	1.7%

株式分割と配当予想について

■ 株式分割を実施

2021年9月30日を基準日とする「1対3」の株式分割を、7月30日の取締役会の決議に基づき実施いたしました。

目的

投資単位当たりの金額を引き下げることによって、当社株式の流動性を高め、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるとともに、投資家層の更なる拡大を図るものです。

概要

① 株式分割の方法：

2021年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主の所有する普通株式を1株につき3株の割合をもって分割しました。

② 分割により増加する株式数：

株式分割前の発行済株式総数	104,181,803株
今回の分割により増加する株式数	208,363,606株
株式分割後の発行済株式総数	312,545,409株
株式分割後の発行可能株式数	600,000,000株

株式分割による保有株式数の変更については、10月28日付で三井住友信託銀行より株主の皆様宛に送付しております「株式の分割に伴う増加株式数のご通知」をご参照ください。

■ 1株当たり配当金 (単位：円)



株式分割による影響を加味し、2021年3月期以前の1株当たり配当金を遡及修正しております。また分割により端数表記をしております。

詳細な財務・業績情報は
以下よりご確認いただけます。

<https://www.scsk.jp/ir/data/index.html>



SCSKグループのマテリアリティと主な取り組み例

基本的な考え方

近年、AIなどの先端技術が目覚ましい進歩を遂げる一方、地球温暖化や地域間格差の拡大などの社会課題が深刻化しています。それに伴い企業には、業種・業界を問わず、事業を通じて社会課題を解決し、社会と共に持続的に成長することを目指す経営が求められています。

このような背景を受け、SCSKグループでは経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会と共に成長するために、特に重要ととらえ、優先的に取り組む課題をマテリアリティとして策定しました。

マテリアリティ項目	主な取り組み例	関連するSDGs
豊かな未来社会の創造	デジタル化がもたらす社会や産業への大きな変化を見据え、お客様やパートナーと共創しながら、社会課題解決に寄与する革新的な事業やサービスを通じて、快適で豊かな未来社会を創造します。	  
安心・安全な社会の提供	さまざまなお客様やパートナーが業界の垣根を越えてつながりあう、強靱でかつ信頼できるビジネスプラットフォームを提供することで、日常生活や企業活動の質を高め、安心・安全な社会を支えます。	  
いきいきと活躍できる社会の実現	地域や国を越えて事業を展開することで、当該地域の成長・発展に貢献し、人々が多様な個性を活かしながら、いきいきと活躍できるよりよい社会を目指します。	  
地球環境への貢献	気候変動による事業への影響に適応すると共に、環境に配慮した事業活動の実践や事業機会の創出・拡大により、よりよい地球環境の実現に貢献します。	 
多様なプロフェッショナルの活躍	多様なスキル・経験をもつプロフェッショナルが、価値観を共有し、多様性と専門性を活かしながら、活躍・成長し続けられる機会・職場の実現に取り組めます。	   
健全なバリューチェーンの確立	品質に加えて、環境や社会に配慮したバリューチェーンを確立することで高品質で安心・安全なサービスを提供し、お客様の持続可能な成長を支えます。	  
透明性の高いガバナンスの実践	透明性を確保しつつ、コンプライアンスを遵守し、経営に対する実効性の高い監督を行うと共に、情報・リスク管理等に関する適切な管理体制を構築・実践します。	

サステナビリティ経営の推進

サステナビリティ経営推進体制

SCSKグループの成長戦略である「サステナビリティ経営」を推進するため、「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。委員会は、サステナビリティにかかる全社的課題、取り組み施策の確認や検討、SCSKグループ全体へのサステナビリティ経営の浸透を目的としています。

サステナビリティ経営推進に向けた取り組み例

● Beyond 2030 (若手層による「私たちが創る未来を語り合う会」)

SCSKグループの持続的な成長に向け、社員一人ひとりがサステナビリティ経営の担い手として、自ら考え行動する企業文化を醸成することを目的に「Beyond 2030」を開始しました。選抜された若手社員が、グループの将来や事業を通じた社会への貢献について考え、議論します。

● みらい創造プログラム

2020年10月より開始した、SCSKグループ発の事業創出を目的としたプログラムです。従来の延長にとどまらないよりダイナミックな発想により、事業創出にチャレンジし、複数の起業家を輩出することを目的としています。

地球環境への貢献

SCSKグループはAIやIoT、クラウドサービスなどを活用した事業変革や業務効率化などの支援を通じて、エネルギーの効率的利用に伴うお客様の環境負荷低減に寄与するとともに、災害面においては、堅牢なデータセンターやBCPソリューションなどの提供により、お客様の事業継続に貢献しています。

● TCFD提言への賛同を表明

2021年4月、SCSKグループは気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 提言に賛同しました。

● SBTイニシアチブによる「1.5°C目標」の認定を取得

2021年6月、SCSKグループは中長期的な温室効果ガス排出量の削減目標を設定し、SBTイニシアチブの認定を取得しました。

SCSKグループの温室効果ガス排出量削減目標

Scope1+2 ^{*1}	●2030年度までに2019年度比で47%削減 (1.5°C目標) ●2050年までに排出量を100%削減
Scope3 ^{*2}	●2030年度までに2019年度比で28%削減

*1 Scope1: 自社による温室効果ガスの直接排出量

Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気などの使用に伴う間接排出量

*2 Scope3: Scope1、Scope2以外の間接排出量 (自社の活動に関連する他社の排出)

● グリーンファイナンスフレームワーク/グリーンボンド

SCSKグループのサステナビリティ経営を資金調達面からも推進していくことを目的として、グリーンファイナンス・フレームワークを策定し、さらに2021年6月には、国内公募形式によるSCSK初のグリーンボンド (SCSK株式会社第8回無担保社債) を発行しました。この調達資金は、省エネ化による環境配慮型のデータセンターとして設立する「netXDC千葉第3センター」の建設、改修、取得および運営にかかる支出に充当する予定です。



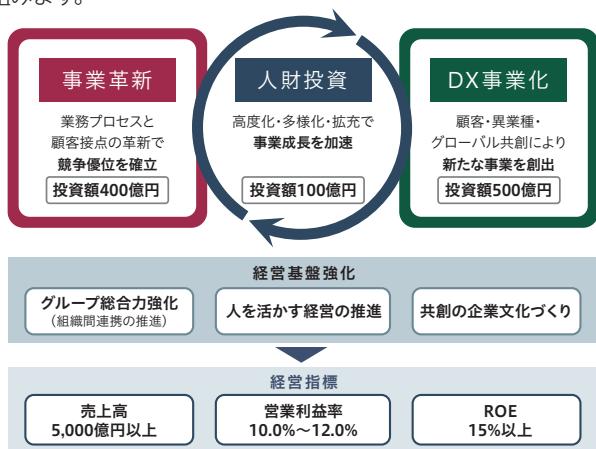
名称	●netXDC千葉第3センター(SI3)
所在地	●千葉県印西市
敷地面積	●約32,201m ²
延床面積	●約13,000m ²
竣工予定時期	●2022年3月
建物	●地下なし、地上7階、塔屋2階 鉄骨造、基礎免震+垂直制振
電源設備	●本線予備線2系統受電 ●発電機:N+1の冗長構成にて無給油連続72時間稼働 ●UPS:部屋単位で冗長構成の変更可能なフレキシブル設計
冷却設備	●N+1冗長構成(オプションによりN+2構成まで拡張可能)
ラック数	●1,600ラック
総電気容量	●20MW



中期経営計画 (2021年3月期～2023年3月期) の進捗

基本戦略

「2030年 共創ITカンパニー」の実現に向けて、中期経営計画では、3つの基本戦略「事業革新」「DX事業化」「人財投資」及び、これらを支える3つの経営基盤強化策「グループ総合力強化」「人を活かす経営の推進」「共創の企業文化づくり」に取り組みます。



資本効率性指標 中期経営計画期間のROIC維持目標レベル：10～12%

金融商品・サービス仲介業者向けにアドバイザーソリューションを提供開始 ～日本版 Turnkey Asset Management Platform (TAMP) 事業へ参入～ 金融サービスプラットフォーム領域でのDX推進

SCSK株式会社は、今後中長期的に成長が見込まれるIFA (Independent Financial Advisor：独立系金融アドバイザー) などの金融商品・サービス仲介業者に対し、アドバイザーソリューションを2021年8月より提供開始しました。

個人の目標を叶えるゴールベース型の資産運用アドバイスを総合的に行える基盤を提供することで、人生設計に応じた最適な資産運用ができる社会の実現に寄与します。

リリースへのリンク

<https://www.scsk.jp/news/2021/press/product/20210901.html>



沖縄県とSCSKが「首里城復興におけるDX推進に関する連携協定」を締結

沖縄県とSCSK株式会社は、首里城復興基本計画に基づき、相互の有する資源の効果的な活用と、緊密な連携及び協力により、首里城公園及び周辺地域においてデジタル技術を活用した新しいまちづくりの推進に寄与することを目的とし、「首里城復興におけるDX推進に関する連携協定」を締結いたしました。

首里城復興において、AIやIoTなどの最新デジタル技術を活用することで、来訪者の満足度向上や、地域交通渋滞の改善、ニューノーマルに対応した観光施設の運用など、首里城公園及び周辺地域の更なる魅力の向上や、暮らしと観光の両立したまちづくりの実現などの課題解決を通じ、地域社会への貢献に取り組んでいきます。



左：SCSK株式会社 代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者 谷原 右：沖縄県 玉城 アニー 知事

リリースへのリンク

https://www.scsk.jp/news/2021/press/management/20210601_2.html



「SCSK Minoriソリューションズ」を設立

SCSKグループの掲げる「共創ITカンパニー」の実現に向けて、拡大余地のある中堅企業市場に対する事業拡大を図るため、2021年10月1日に株式会社Minoriソリューションズ、株式会社CSIソリューションズ、Winテクノロジー株式会社は合併し、「SCSK Minoriソリューションズ株式会社」として生まれ変わりました。

新会社概要

- 資本金：4億8千万円
- 売上概算：260億円（2021年3月期の3社単純合算）

新市場区分「プライム市場」選択申請

株式会社東京証券取引所（以下、「東証」）より、新市場区分の上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認しました。この結果に基づき、SCSKは2021年9月29日開催の取締役会において「プライム市場」の選択申請を行うことを決議しました。今後は、東証が定める申請スケジュールに従い、新市場区分の選択に関する所定の手続きを進めてまいります。

CAMP20周年

2021年4月に20周年を迎えたCAMP (Children's Art Museum & Park)は、未来を担う子どもたちに向けたSCSKグループの次世代育成活動です。ワークショップを通じていろいろな表現方法を知り、グループでの共創活動を通じて、これからの子どもたちに必要な社会性、他者や多様性を受け入れ楽しむ心を育みます。2021年11月7日には20周年を記念したシンポジウムを外部有識者を招いて開催しました。下記特設サイトからアーカイブ配信（2021年12月15日迄）をしております。



20周年特設サイトへのリンク

<https://www.camp-k.com/camp/20th>



主な社外からの評価

- 経済産業省・東京証券取引所「健康経営銘柄」に7年連続で選定（2014年度、2015年度、2016年度、2017年度、2018年度、2019年度、2020年度）
- SOMPOアセットマネジメント株式会社が発定する「[SOMPOサステナビリティ・インデックス]（旧：[SNAMサステナビリティ・インデックス]）」に5年連続で選定（2017年、2018年、2019年、2020年、2021年）



- 「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に選定（2017年、2018年、2019年、2020年、2021年）
- 「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定（2017年、2018年、2019年、2020年、2021年）



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan

- 「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄に選定（2017年、2018年、2019年、2020年、2021年）
- 「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定（2017年、2019年、2020年、2021年）

2021 CONSTITUENT MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

2021 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

THE INCLUSION OF SCSK CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF SCSK CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

当社IRサイトのご紹介

株主・投資家の皆様とのより良いコミュニケーションを図るため、皆様にとってより便利なサイトづくりと情報開示の充実を目指しております。

<https://www.scsk.jp/ir/index.html>



また、個人投資家向けサイトをリニューアルいたしました。

<https://www.scsk.jp/ir/individual/index.html>



お知らせ

これまで配当通知とともに株主の皆様へお届けしてまいりました中間報告書（本冊子）につきまして、情報開示の適時性および環境への配慮の一環から、今後は冊子による発送を取りやめ、WEBサイトでの情報発信に移行することを検討しております。なお、これまでの中間報告書（PDF）は、IRサイトよりご覧いただけます。何卒ご理解いただきたくお願い申し上げます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
配当金支払 基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告 して定めた日
公告方法	電子公告にて掲載。ただし、事故その他 やむを得ない事由によって電子公告による 公告をすることができない場合は、日本 経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネット ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/ procedure/agency/

免責事項

本報告書は、SCSKグループの業績および事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、SCSKおよびグループ会社の株式購入や売却を勧誘するものではありません。本報告書の内容には、将来の業績に関する意見や予測などの情報を掲載することがありますが、これらの情報は、現時点の当社の判断に基づいて作成しています。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本報告書利用の結果生じたいかなる損害についても当社は一切責任を負いません。また、本報告書の無断での複製、転記などを行わないようお願いいたします。

SCSK株式会社

〒135-8110 東京都江東区豊洲三丁目2番20号 豊洲フロント

